

授業科目	栄養教育実習				単位	1		
履修	選択	関連資格	栄教一種免		ナンバリング	NT44115J		
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	扇谷 恵美子、坂田 郁子							
授業概要	この実習では、履修した教職科目等の理論や技術を基礎に、学校での食の指導を推進するために、学校教育全般の組織、運営、学級経営を体験する。また、児童生徒の人格形成、身体の成長と発達に貢献し、教育における研究問題を発見するとともに、自己の望ましい教師像を形成し、食の指導に関わる教育実習生としての資質向上を目指し、教職に関する実践的、研究的能力や態度を養うことを目的とする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食の指導における具体的な研究課題を発見できる。 2. 自己の望ましい栄養教諭像を形成する。 3. 教職に関する実践的・研究的能力を身につける。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	60	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)				5			5	
知識・理解 (DP1-2)				40	10		50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					10		10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				5	5		10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)					5		5	
態度(DP4-2)					10		10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10			10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
教職課程で学んだ知識の全てを活用し、教育現場で応用・実践ができ、実習中に問題・課題を発見し、それを解決できる。また、教育実習において、栄養教諭としての指導力を深め、教育現場ではどのような栄養教諭が求められているかを理解し、自ら考えてそれを行動に結びつけることができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 食の指導における具体的な研究課題を発見できる。 2. 自己の望ましい栄養教諭像を形成する。 3. 教職に関する実践的・研究的能力を身につける。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	<p>主に小学校において以下の内容について、栄養教育実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校経営と学校組織活動 2. 児童生徒への個別的な相談、指導に関する実習 3. 学級活動および給食の時間における指導の参観と補助 4. 教科等における教科担任等と連携した指導の参観、補助 5. 給食放送指導、配膳指導、後片付け指導の参観、補助 6. 児童生徒集会、委員会活動、クラブ活動における指導の参観、補助 7. 食の指導に関する指導計画案、学習指導案の作成 8. 食の指導に関する教材研究と研修授業の実践 9. 校内における食に関する指導の連携・調整 10. 食の指導に関する家庭・地域との連携・調整の参観、補助 	実習	実習内容の定着を図り、実習期間中の課題解決に向けて自己の実習目標に到達する。	予習・復習：1日2時間×5日間
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	事前準備として、学習指導案の理解、作成方法、改善方法などを熟知し、模擬授業や教材研究も含めて事前学習を十分に行うことが必要である。			
テキスト	学校栄養指導論1・2で使用した教科書、参考書、学習指導要領等を活用する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	教育実習日誌を活用する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	教育実習では、「子どもが好き」であると同時に、教育現場での厳しさにも耐えうる力を養っておくことが必要となる。教職関連科目や専門教育科目も十分に復習して、教師としての自覚を持って実習に臨んでほしい。			
達成度評価に関するコメント	実習校からの教育実習成績評価票や教育実習日誌、レポート、さらに実習報告会の内容を加味する。			

